



昨日、6月15日(木)に第1回平野小学校学校運営協議会を開催しました。その中で、校長から、本年度の学校経営の3つの重点的取組についてお話させて頂きました。今日は、その3つの重点的取組について、お伝えします。

## 本年度の3つの重点的取組

### ①学校情報の積極的発信

- 学校におけるの子どもたちの様子を保護者・地域の皆様にありのまま知ってもらうため、日々様子をホームページに、毎日、掲載すること。
- 学校基本情報・行事予定・配付プリント等をホームページに掲載し、学校からの情報を確実に保護者・地域の皆様にお伝えすること。

### ②保護者・地域の皆様の学校教育への参画の推進

- 様々な教育活動等において、参観日等に関わらず、保護者・地域の皆様が学校の様子を参観できるような機会を、多く設けること。
- 様々な教育活動等において、保護者・地域の皆様が、指導や支援の協力者として来校して頂く機会を多く設け、共に子どもたちを育てる取組を推進すること。

### ③教師の働き方改革(業務改善)の推進

- 教師の業務の改善により、教師が子どもに向き合う時間の確保、教師の元気・活力の高揚、毎日の授業の質の向上などを図り、よりよい教育活動に邁進できる環境を整えること。

学校の教育活動に参画して頂くためには、その前に、まずは学校の様子・子どもの様子・先生方の様子など、ありのままの姿を知って頂くことが大切だと考えております。そこで、本年度は、「ホームページの充実」に取り組んできました。学校でどんなことがあっているのか、どんなことをしたのか、どんなことを学んだのか、ありのままを知ってほしいと思っております。そして、「今日、学校で、こんなことをしたんでしょ。楽しかった?」、「今日、こんな勉強をしたんだろう。どんなことが分かった?」など、家庭でお子さまとお話しする際のきっかけにできれば嬉しいです。

また、本年度は、学習参観日に関わらず、さまざまな教育活動において、保護者・地域の方々に学校の様子を見て頂く機会を多く設けようと考えております。例えば、歓迎集会・運動会のリハールなどでは、これまで、保護者・地域の皆様にお声かけはしておりませんでした。本年度は「どうぞご自由に参観下さい。」とご案内させて頂きました。

そして、学校のことをよく知って頂いた上で、保護者や地域の皆様による教育活動への参画について、ご案内を数多く、行わせて頂いているところです。わたしは、あえて、「お手伝い」「ボランティア」という言葉は、なるべく使用しないようにしています。それは、子どもの教育活動に参画して頂くことは、決して単なるお手伝いではなく、「共に行う子育て」だと思っているからです。教師も子どもを育てる・家庭も子どもを育てる・地域も子どもを育てる。学校・家庭・地域、みんなが教育の当事者だという考え方、それが大事だと思っております。

そのため、来校頂いた保護者の皆様に対して、特別な案内板を掲示したり、湯茶の接待をしたりすることも、行いません。実は、以前、私が在籍した学校での経験ですが、「保護者ボランティアの活用が、学校の一行事になってしまっていた。」ということがありました。事前に参加される保護者の申込書を集めたり、名簿や名札を作成したり、案内黒板を掲示したり、湯茶のため控室を準備したりすることに学校が追われていたのです。これでは、本末転倒です。

本校では、「できる方が、できるときに来て、できることをする。」それが、一番だと思っております。気負わず、責任を感じず、楽しんで参画下さい。また、そのことを通して、よいことも、そうでないことも、ありのままの子どもたちの姿を見て、感じて下さい。これからも、よろしくお願い致します。

※ 次月号では、「教師の働き方改革(業務改善)の推進」についてお知らせ致します。

※ 本年度は、子どもの様子については、ホームページを中心に、お知らせしていきます。

そのため、校長通信「ひらのっこ」の発行回数が、昨年度より少なくなっております。ご理解下さい。